

## 令和4年度 第2回 FMはまなす番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和4年7月20日(火)
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20  
岩見沢市コミュニティプラザ2F 会議室A
3. 出席者 審議委員総数 8名  
出席委員数 7名  
  
出席委員の氏名
  - ・岡 嘉彦
  - ・永沼 興子
  - ・仁志 正樹
  - ・木村 聡
  - ・北口 博美
  - ・畑 孝子
  - ・加藤 一美  
局側出席者
  - ・阿部 啓吉(代表取締役)
  - ・松井 宙夢(スタッフ)
4. 議題 「局制作番組」「市民制作番組」についての審議
5. 議事の概要(放送日7/2と7/4)
  - (1) 局制作番組について
    - 「防災どーする」
    - 「防災・防犯インフォメーション」
  - (2) 市民制作番組について
    - 「Classic Rock Radio」

## 6. 審議内容

### (1) 「局制作番組」について

#### 「防災どーする」

災害が発生した時に、市民の皆さんが悩まずに行動できるよう防災に関する情報を紹介する番組。

#### 「防災・防犯インフォメーション」

緊急情報や気象情報、交通情報、岩見沢市、警察署から提供される防犯情報等を放送する番組。

### ① 事前意見回答報告

#### 岡委員長

「事前のお知らせ、市民への情報、知識の学習は良い時間だと思います。このような情報提供は、市民にとって大切なので常時、選択をして放送する事が良いと思います。」

#### 永沼委員

「岩見沢で大雨情報が出ていたが、何処か分からなかった。FM はまなすを聴くと、万字・美流渡方面だという事が分かった。やはり地元のラジオを聴くのが一番だと思った。大雨警報、食中毒警報、防犯情報が放送されていて、その時ちょうど美園小学校前を通った時に、警察官が道路の角々にいたので、信用金庫、郵便局があるので詐欺等の事件があったのかなと思い、私自身気をつけようと思った。」

#### 仁志委員

「落ち着いた聞き易い若い防災室の猪爪さんの語りに、を澄ませて聞きました。災害時、避難場所での生活で、家族の一員としての「ペット」との避難場所での具体的な対応内容でした。例として「愛犬、愛猫、ウサギ等」と掲げ、より多くの方との期限の分からない共同生活で事前のペットの訓練を含め準備が必要との説明に感心しました。この

様な災害被害が無い生活をしながら有事対策は、平時にと忘れがちですが思いました。防災防犯インフォメーションの中でも、オレオレ詐欺、還付金詐欺、フィッシングメール等、手を変え品を変えて忍び寄る魔の手に、「家族、友人、町内会等」少しでも被害者を出さない意識改革が急務と聴いていました。この話題にも、日頃の会話の中に入れてほしいですね！！私は「大丈夫」が一番危ないですね！！被害者を出さない、大切な番組ですね！また、聞きたい番組です！！」

#### 木村委員

「災害時のコミュニティFMの働きで思い出すのは、胆振東部地震に伴う停電の時のことです。隣に住む義理の両親の家も停電で通常のテレビ、ラジオが止まり、唯一市から配られた災害緊急ラジオだけが情報を得る手段でした。高齢者の二人暮らしでしばらくFMはまなすの放送を聴いていたのですが、1日経ってFMはまなすを聴くのを止め、STVラジオを聞いたとのことでした。理由を聞くと、常に岩見沢地域の情報だけの同じ内容の放送で、聴くことに飽きてしまったそうです。もっと岩見沢以外の道内の他の地域がどのようになっているのかの情報を聴くことが出来れば、聴くことを止めなかったと言っていました。災害は時の経過により、被災者が欲しい情報も変化していくそうです。また、特にネットを使うことが出来ない高齢者など情報弱者の役に立つ災害時の緊急放送の番組作りを考えていただきたいものです。」

#### 北口委員

「災害時のペットの非難についての話は、ペットを飼っている人も多く、自分に置き換えて考える事のできる身近な情報なので、参考になったと思います。ただ、5分という短さが残念でした。さらに具体的な話があると良いと思います。このような番組は市民に防災防犯意識を高め、気付きを与える事に繋がっているので、とても大事だと思います。落ち着いた話し方も聞きやすかったです。」

畑委員

「軽やかな音楽と市職員のコメントも聞き取りやすく始まりました。災害時避難所でペットを受け入れる時のルール情報。大型犬、小型犬、猫など避難場所の違いやケージやキャリーバッグ、首輪やリード着用時のルールがある事、大変参考になりました。事前に受け入れの確認をする事と、日頃の躾が大事だと指摘があり、実にその通りだなと思い、我が家のチビ達の顔を見ました。食中毒警報第2号発令という事で、加熱調理の場合の注意点を上げていましたが、丁度お弁当のおかずで冷凍した手作りハンバーグを焼き、しっかり火が通っているか心配だったので、半分に切るとやはりまだピンクの部分があり、改めて気を付けなければと思いながら聴いていました。警察署からは不審者の付きまといや、車のドアが割られ車上狙いの連続発生等の情報。また、市民サービス課市民係からは、イオンでマイナンバーカードの申請が出来る等、私たちの日常生活に見逃せない身近で多様な内容でした。」

## ② 審議

岡委員長

「では、審議を始めます。日頃から防災について考えるのは大事な事ですね。ペットをどうするかが大事だし、考えなくてはならないと思いました。」

スタッフ松井

「内容は何パターンかあって、入れ替えて放送しています。」

岡委員長

「避難する場合の事も考えて、ペットを飼うか飼わないかを考えるのには良い情報だったと思います。」

木村委員

「放送パターンには冬場の情報もあるのですか？」

スタッフ松井

「その時期によって内容を変えていきます。」

木村委員

「北海道ならではの情報があれば良いですね。」

岡委員長

「万一の為に日常的に放送するのは大事な事だと思います。」

仁志委員

「この他のペットについても、避難準備は必要なのだと思います。」

北口委員

「放送時間枠が長くても良いのではないのでしょうか。」

岡委員長

「市民に情報を色々知ってもらうように広めるのは大事だと思います。では次に進みます。」

## (2) 「市民制作番組」について

### 「Classic Rock Radio」

1950年頃から1990年頃までの古典的なロックから、現代ミュージックの影響を与えたロックミュージック、世の中に出てこないようなマニアックなロックミュージックを発掘してお届けする音楽番組。

#### ① 事前意見回答報告

仁志委員

「1950年頃から1990年頃までの古典的なロックから、マニアックな音楽とのタイトルに感心を持ちました。「レット ツエップリン」の名前が聞こえたので、約1時間聞きました。正直な感想ですが、すべて同じ音楽に聞こえました。」

楽しそうな富井さんと、二人の会話が心地よく進行も滑らかで良い番組です。私の中に共鳴する引き出しが未造作ですが、近日図面の完成予定です。次회가、楽しみです！！」

加藤委員

「番組の内容に関しましては、ながらで聞き流す感じの趣旨であればすんなりと聞ける番組ではないかと思いました。国内外のクラシックロックを紹介して、リスナーに知ってもらいたいと思って番組を制作しているのであれば、もう少し1曲1曲説明や背景などを掘り下げてお話してもらえないと、次曲へのペースが速く追いつけない印象を持ちました。クラシックロックが好きな世代のリスナーも沢山いるとは思いますが、FMはまなすを聴いている方もいますので、ロックファン以外のリスナーにもう少し配慮頂けると、もっともっと聴きやすく良い番組になっていくのではないかと感じました。」

## ② 審議

永沼委員

「女性パーソナリティーがもっと勉強した方が良いと思いました。」

仁志委員

「音楽に詳しい男性の中に入っていくのは、厳しいかもしれませんね。」

加藤委員

「マニアックな曲なので、全部同じに聞こえる。」

仁志委員

「曲の区別がつかないが、楽しそうに話していました。こんなに語れるのは凄いいと思います。」

加藤委員

「好きな人には良いと思います。万人向きではないが聞き

流して聴くには良いです。放送時間も夜の方が良いのかも  
しれません。」

スタッフ松井

「パーソナリティーは他にも番組を持っており、区別して  
違った路線の番組を作っています。」

岡委員長

「他に意見が無ければこれで終了します。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

(1) 局制作番組

「スクラム岩見沢（市政だより）」

今後も市民が必要とする番組にしていきたい。

(2) 市民制作番組

「MAYA MAX の Play Pray」

引き続き良い番組作りをお願いした。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法  
及び年月日。

公表方法	自社放送、ホームページ、局内設置議事録
公表内容	委員の主な意見
公表年月日	令和4年8月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。